

2010年度 2 学期 アジア文化概論 II (東南アジア古典文化論) 期末レポート課題

教員：青山 亨 (633 研究室)

課題配布日：2011 年 1 月 20 日．課題提出日：2009 年 2 月 10 日(木)4 限 授業時間中

課題：以下の二つの課題の答えを指定の形式にしたがって別紙に記しなさい。

レポートの形式：A4 判 3 ページ以内。1 ページの上部に「2010 年度東南アジア古典文化論 2 学期期末課題」と書き、氏名・学籍番号を明記し、左上をホッチキス止めすること。

注意：提出されたレポートは新年度にはいった時点で廃棄します。返却を希望する人はその旨を注記し、2 月 18 日までに 633 に受け取りに来てください。

課題 1

右の上の図はインドネシアの国章、右の下の図はタイの国章である。いずれもヒンドゥー教の神話に出てくるガルダの姿が描かれている。しかし、インドネシアの人口の 88%がイスラーム教徒、タイの人口の 95%が仏教徒である。このように、現在の東南アジアで、イスラームや仏教が多数派を占める国において、ヒンドゥー教に由来するシンボルが使われている理由を、予備知識のない人(この授業を受けたことのない人)にもわかるように、説明しなさい。



課題 2

インドの宗教的物語では、『ラーマヤナ』のラーマ王子や『マハーバータ』のクリシュナがヴィシュヌ神の生まれ変わりであったり、仏伝やジャータカにおける主人公がブッダの前生であるボーディサットヴァ (菩薩) であったりするように、転生 (reincarnation) という考え方が背景に存在する。中心となる人物が神またはそれに準じる存在の転生である事実によって、物語にどのような宗教的意味が与えられているかを考察しなさい。

2010年度 2 学期 アジア文化概論 II (東南アジア古典文化論) 期末レポート課題

教員：青山 亨 (633 研究室)

課題配布日：2011 年 1 月 20 日．課題提出日：2009 年 2 月 10 日(木)4 限 授業時間中

課題：以下の二つの課題の答えを指定の形式にしたがって別紙に記しなさい。

レポートの形式：A4 判 3 枚以内。1 ページの上部に「2010 年度東南アジア古典文化論 2 学期期末課題」と書き、氏名・学籍番号を明記し、左上をホッチキス止めすること。

注意：提出されたレポートは新年度にはいった時点で廃棄します。返却を希望する人は 2 月 18 日までに 633 に受け取りに来てください。

課題 1

右の上の図はインドネシアの国章、右の下の図はタイの国章である。いずれもヒンドゥー教の神話に出てくるガルダの姿が描かれている。しかし、インドネシアの人口の 88%がイスラーム教徒、タイの人口の 95%が仏教徒である。このように、現在の東南アジアで、イスラームや仏教が多数派を占める国において、ヒンドゥー教に由来するシンボルが使われている理由を、予備知識のない人(この授業を受けたことのない人)にもわかるように、説明しなさい。



課題 2

インドの宗教的物語では、『ラーマヤナ』のラーマ王子や『マハーバータ』のクリシュナがヴィシュヌ神の生まれ変わりであったり、仏伝やジャータカにおける主人公がブッダの前生であるボーディサットヴァ (菩薩) であったりするように、転生 (reincarnation) という考え方が背景に存在する。中心となる人物が神またはそれに準じる存在の転生である事実によって、物語にどのような宗教的意味が与えられているかを考察しなさい。